



塾生さん、いま何してる？

『一人の作り手として』



▼二年間の研修を終え、令和三年三月を持って前田めいさんが卒業しました。工房名は、自身の名前「まえだ めい」と、木（もく）を組み合わせた「まめもく」。

「不安も沢山ありましたが、楽しく充実した二年間を過ごすことができました。これからは初心を忘れず、コツコツものづくりに取り組んでいきたいと思っています。」

卒業の際のコメントにもあり、コツコツと丁寧に仕上げられた商品が、現在開催中の卒業展で購入することができます。

卒業展は五月三十一日までを予定していますが、商品の売れ行きによっては、会期が短くなる場合もありますので、ぜひお早めにお越しください。

今月の一品

かくれた一品 おすすめの一品
毎日 オケクラフトとともにいる
私たちの一品をご紹介します！



商品名：パン皿
サイズ：径 180~270mm
高さ 25mm
価格：2,860~5,720 円
樹種：エゾマツ

【生活の知恵 - 入れ子】

日本の生活用具の知恵といえる「入れ子」。携帯性と収納性をあわせ持つ入れ子は、場所を取らないのに、多彩な使い方ができる優秀な道具といえます。

あまり広い生活空間を持たなかった日本の暮らしの中で、入れ子の道具は重宝され、様々に使用されています。

秋岡コレクションの中にも、弁当箱の「筍重」（たけのこじゅう）、禅宗の僧が使用

したとされる「応量器」（おうりょうぎ）、生活の道具としての「切溜」（きりため）などを見ることができます。

ミニマリズムな生活が注目される現代において、「入れ子」は見直されるべき日本の生活の知恵であるように感じます。

【切溜】

岩手県遠野地区で、ハレの日など人が集まる時に使用された



今日は何を知らろうか

ふかよみコレクション



私のイチオシは、【工房 ICHIO】のエゾマツのパン皿。サイズは四種類。十八cmサイズは菓子パン一個が載る大きさ。二十一cmは食パン一枚がぴったり。二十四cmは食パン一枚に少しゆとりがほしい時。二十七cmは野菜などを添えてワンプレートに。

白く優しい雰囲気のお皿にお気に入りのパンを載せると、美味しさと同時に幸せな気分が味わえるでしょう。



ショップ販売員 平

森林工芸館からのお知らせ

どま工房特別展 「オケクラフトの育ての親 時松辰夫展」



オケクラフトの育ての親であり、今年1月に逝去された「時松辰夫」さんの特別展をどま工房で開催します。

時松さんは、故秋岡芳夫さんの紹介により、1983年5月に置戸へ来町されて以降、置戸町で木工ろくろの指導、オケクラフトの作り手育成にご尽力いただきました。その技術は、現在まで受け継がれています。

特別展では、時松さんがデザインされたオケクラフトの試作品や図面のほか、当時の写真や活動の年表などを展示いたします。

【日程】	令和3年5月8日
【時間】	5月31日
【会場】	火水休館
【どま工房】	（入館無料）
【時間】	午前10時～午後4時

完全予約制「木あそび展」



毎年ゴールデンウィークに開催している「木あそび展」ですが、新型コロナウイルス感染症の収束見込みが見えない中で、例年通りの開催は見合わせていただきます。

しかし、毎年楽しみにされている方もいらっしゃるから、今年、置戸町民限定、完全予約制で「木あそび展」を実施します！

【日程】	2021年6月26日（日）
【時間】	午前の部 10:00~13:00 午後の部 14:00~17:00
【会場】	どま工房
【定員】	午前・午後ともに10名
※モノづくりメニューの詳細や受付方法については来月号でお知らせします。	